

KENWOOD

タッチパネル6.5インチワイドTV

LZ919

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

Functional Operation

Monitor Control Function

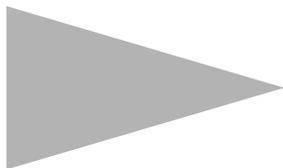
Setup Function

Audio Control Function



3	安全上のご注意	
5	使用上のご注意	
6	Monitor Control Function	
	□ モニターボタンの操作	6
	□ TV映像時のタッチパネル操作	9
	□ モニターアングルの設定/画質の調整	10
12	Setup Function	
	□ システムの設定	12
	□ 時計の調整	15
	□ タッチパネルの調整	16
17	Audio Control Function	
	□ オーディオの設定	17
	□ DSPコントロール	19
	□ ソースセレクト画面の操作	22
	□ オーディオコントロール画面の共通操作	23
	□ 交通情報コントロール	23
	□ TVチューナーコントロール	24
	□ FM/AMチューナーコントロール	26
	□ CDプレーヤーコントロール	28
	□ MDプレーヤーコントロール	30
	□ テーププレーヤーコントロール	32
	□ ディスクチェンジャーコントロール	34
	□ ネームセット	37
38	Appendices	
	□ 故障かな?と思ったら	38
	□ 保証とアフターサービス	39
	□ 仕様一覧	

本取扱説明書の操作画面は説明用に作成したものです。実際の画面と異なります。



ご使用の皆様へ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため
「安全上のご注意」をご使用の前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

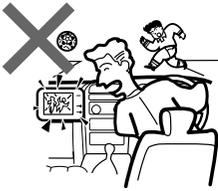
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守り下さい。

警告



実施

前方不注意による交通事故などを防ぐため、ナビゲーション画面を注視する時間は、必要最小限(1秒以内)としてください。

また、以下のような行為をするときは、必ず安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- ・テレビやビデオを見る
- ・登録や各設定などの操作



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



実施

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



実施

本製品を車載用以外の用途で使用しないでください。

注意



注意

モニターディスプレイの開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてけがをすることがあります。



実施

液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

使用上のご注意

■ 安全走行のために

走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

■ 本機からタッチコントロールできるナビゲーションユニット

本機のタッチパネルで操作できるナビゲーションユニットは下記の通りです。

(2000年3月現在)

DVZ-2000、GZ-600、GZ-1000、GZ-500、
GPR-550、GPR-77、NV990、NV900

■ 本機からタッチコントロールできるオーディオユニット

本機のタッチパネルで操作できるオーディオユニットは下記の通りです。

(2000年3月現在)

MZ-BUSシステム：

MJ919、MZ919、M919、Z919、A707、MJ909、
MZ909、MZ907、M909、M707、Z909、Z707、
D919、D909、D707、X909、X707、C919、
C910、C710、C906、C706、P707

MX-BUSシステム

M505、Z505、D505、X505、C510、C506、
MD56

(BUS変換ボックスCA-57ZXが必要です。なお、使用できる機能が制限されます。)

■ バッテリー上がりを防ぐため

エンジンをかけないで、ACC ONの位置にして本機を使用しますと、バッテリーが消耗し、バッテリー上がりの原因になります。エンジンをかけてご使用ください。

■ モニターの保管とお手入れ

- モニターをオープンした状態で、高温の場所に放置しないでください。
- 本機が汚れたときは、シリコンクロスや、やわらかい布で拭きしてください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷がついたり、塗装面が剥げたり、文字が消える場合があります。

■ 低温時の画面の明るさについて

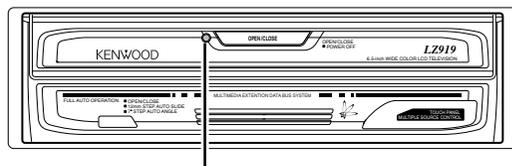
冬季など本機の温度が下がっている場合、液晶パネルの性質上通常より暗くなります。本機の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

■ リセットボタンについて

- 取り付け直後やバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。

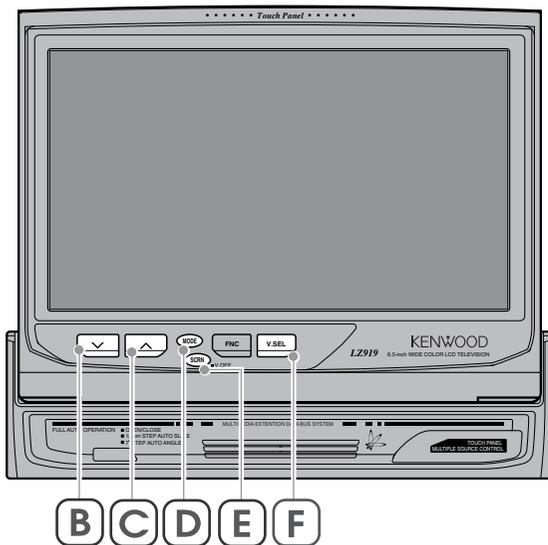
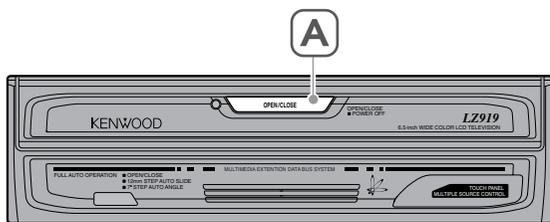
- ご使用中にセットの異常にお気づきのときは、リセットボタンを押してください。

それでも正常な状態に戻らないときは、そのままの状態でお買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、営業所へお問い合わせください。



リセットボタン

モニターボタンの操作



電源のオフ

本機の電源をオフにします。



電源がオフになるまで押し続けます。

電源をオンするときは・・・



押すと電源がオンになります。

映像の切り替え

モニターの映像を選びます。



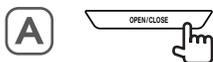
押すたびに、モニターの映像が以下のように切り替わります。



- ナビゲーションユニットをビデオ入力端子に接続している場合は、システム設定画面 (● 12ページ) のビデオ入力モードを『NAV』に設定してください。
- インターフェース端子にナビゲーションユニットが接続されていない、またはナビゲーションユニットの電源がオフの場合は、「NAVIGATION OFF」と表示されます。
- パーキングブレーキをセットしないと、テレビやビデオの映像は映りません。(ナビゲーションユニット接続時は、パーキングブレーキを解除するとナビゲーション映像に切り替わります。)

モニターのオープン/クローズ

モニターを出したり収納したりします。



モニターがクローズしているときに押すと、オープンします。

モニターがオープンしているときに押すと、クローズします。



- パーキングブレーキをセットしないと、モニターはオープン/クローズしません。
- モニターがオープンする際に、シフトレバーなどにモニターが干渉する場合があります。その場合は、安全に注意してシフトレバーを動かすなどして本機を操作してください。(障害物に当たりモニターが正常にオープンできない場合、保護機能が働きモニターは自動的にクローズします。)
- 手で無理にモニターを引き出したり、押し込んだりしないでください。故障の原因になります。

音量の調整

スピーカーの音量を調整します。



押すたびに音量が大きくなります。



押すたびに音量が小さくなります。



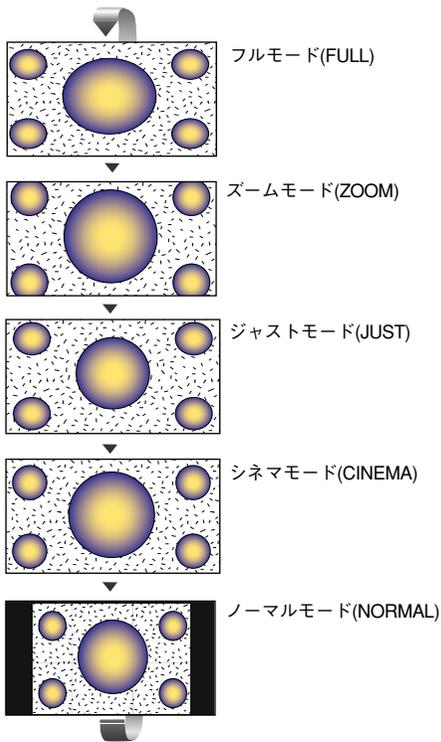
- A707やMDレーザー、CDレーザーなどのセンターユニットを接続していない場合は、内蔵スピーカーの音量調整になります。
- A707やセンターユニットを接続している場合は、センターユニットの音量調整になります。(内蔵スピーカーの音量調整はシステム設定画面 (● 12ページ) で行ってください。)

映像モードの切り替え

テレビやビデオの映像モードを切り替えます。



押すたびに、モニターの映像モードが以下のように切り替わります。



- メモ
- インターフェース端子接続のワイドナビゲーション映像や本機内蔵のコントロール画面などを表示している時は操作できません。
 - ノーマル画面専用のナビゲーション映像で、ノーマルモード以外の画面モードを選択している場合は、画面にタッチすると一時的にノーマルモードに戻ります。

アングル/スクリーンコントロール画面の表示

モニターの位置や画質を調整する画面を表示します。



押すとアングルコントロールまたはスクリーンコントロール画面が映像上に表示されます。



メモ 画面の操作は (▶ 10~11ページ) をご覧ください。

映像のオフ

モニターの映像を一時的に消します。



映像が消えるまで押し続けます。

映像オフを解除するときは・・・



押すと映像オフが解除されます。

メモ モニターのMODE、FNC、V.SELボタンのいずれかを押しても映像オフは解除されます。

モニターボタンの操作



オーディオコントロール画面の背景切り替え
オーディオコントロール画面の背景表示を5種類の中から選択します。

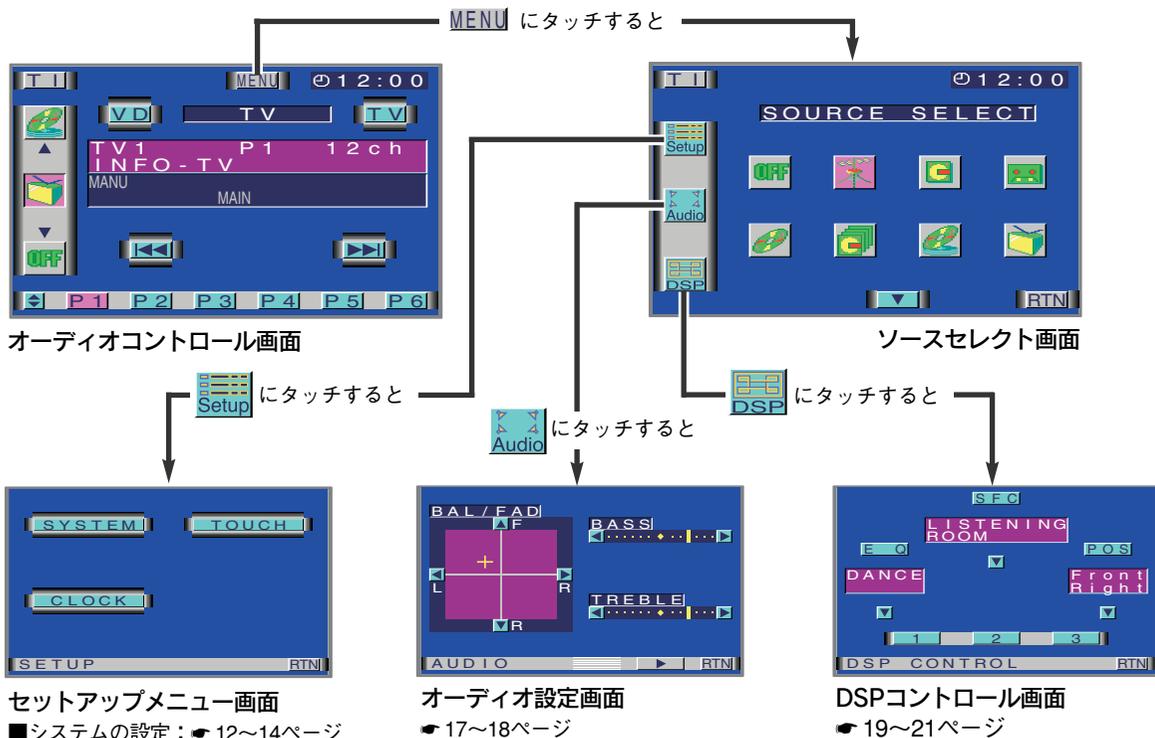


オーディオコントロール画面を表示中は、押すたびに画面の背景表示パターンが切り替わります。

システム設定画面やオーディオシステムのコントロール画面の表示
本機のシステム設定画面やオーディオをコントロール画面を表示します。



押すとオーディオコントロール画面が表示されます。以下のように画面のキーにタッチすると各種画面に切り替わります。



● [Audio] はA707やMDレシーバー、CDレシーバーなどのセンターユニットを接続している場合に表示されます。
 8 ● [DSP] はDSPユニットを接続している場合に表示されます。

TV映像時のタッチパネル操作

TVプリセットバンド切り替え

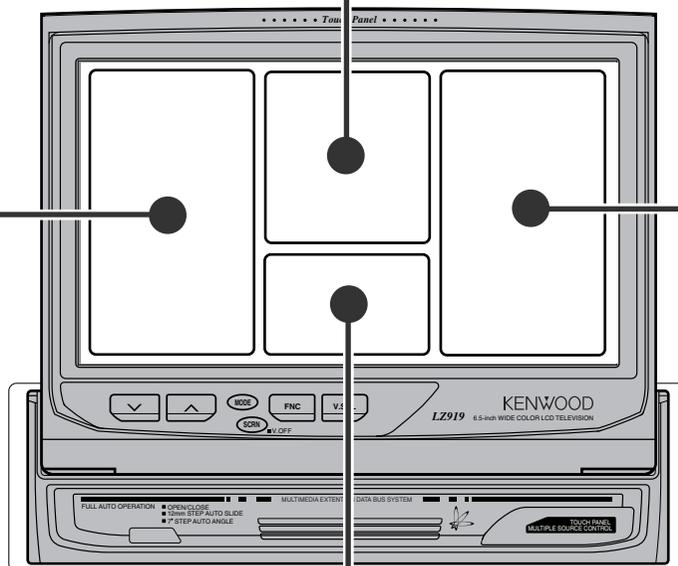
スクリーンの中央上側にタッチするとTVプリセットバンドがTV1とTV2に切り替わります。

チャンネルダウン

スクリーンの左側にタッチするとチャンネルが下がります。

チャンネルアップ

スクリーンの右側にタッチするとチャンネルが上がります。



メモ チャンネルのアップ/ダウン操作はTVチューナーコントロール画面のチューニングモードの設定により動作が異なります。(● 25ページ)

オンスクリーン表示

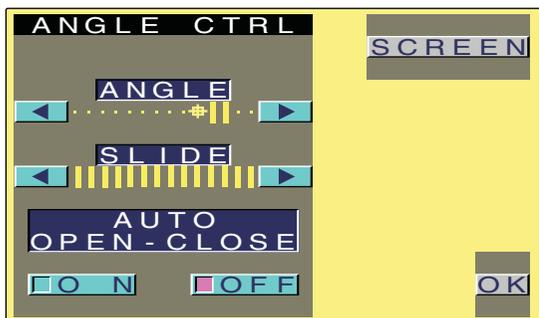
スクリーンの中央下側（ビデオ画面時は任意の場所）にタッチすると、現在のオーディオソースや映像の状況などを一時的に映像に重ねて表示します。もう一度タッチすると表示が解除されます。



モニターアングルの設定 / 画質の調整

▶アングルコントロール/スクリーンコントロール画面の表示

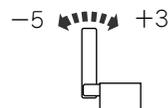
モニターの **SCRN** ボタンを押します。(☛7ページ)



アングルコントロール画面

● モニターの傾斜角度設定 [ANGLE]

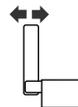
- ▶ にタッチすると：
モニターが後方に傾きます。
- ◀ にタッチすると：
モニターが手前に傾きます。



メモ 角度は-5から+3まで9ポジションで調整できます。モニターがオープンすると設定した角度で止まります。お買い上げ時の設定はセンター位置(0)です。

● モニターのスライド位置設定 [SLIDE]

- ▶ にタッチすると：
モニターが手前にスライドします。
- ◀ にタッチすると：
モニターが後方にスライドします。



メモ 位置の調整は4ポジションです。モニターがオープンすると設定した位置で止まります。お買い上げ時の設定は一番手前です。

● オートオープン/クローズの設定 [AUTO OPEN-CLOSE]

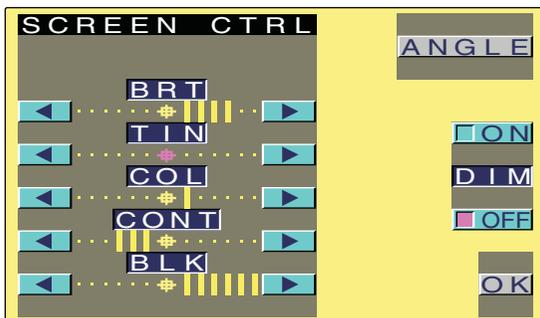
- ON** にタッチすると：
車両のイグニッションキー (ACC) のオン/オフに連動してモニターが自動的にオープン/クローズします。
- OFF** にタッチすると：
モニターのオープン/クローズは **OPEN/CLOSE** ボタンを操作して行います。

● スクリーンコントロール画面への切り替え

SCREEN にタッチするとスクリーンコントロール画面に切り替わります。

● コントロール画面の終了

- OK** にタッチするとコントロール画面が終了します。
- メモ** ● モニターのSCRN、MODE、FNC、V.SELボタンのいずれかを押してもコントロール画面は終了します。
- コントロール画面が表示されているときは、ナビゲーションユニットのタッチコントロールはできません。



スクリーンコントロール画面

明るさの調整 [BRT]

- ▶ にタッチすると：
映像が1ステップ明るくなります。
- ◀ にタッチすると：
映像が1ステップ暗くなります。

色合いの調整 [TIN]

- ▶ にタッチすると：
映像の緑色が1ステップ強くなります。
- ◀ にタッチすると：
映像の赤色が1ステップ強くなります。

色の濃さ調整 [COL]

- ▶ にタッチすると：
映像の色が1ステップ濃くなります。
- ◀ にタッチすると：
映像の色が1ステップ薄くなります。

コントラストの調整 [CONT]

- ▶ にタッチすると：
映像のコントラストが1ステップ薄くなります。
- ◀ にタッチすると：
映像のコントラストが1ステップ濃くなります。

黒レベルの調整 [BLK]

- ▶ にタッチすると：
映像の黒レベルが1ステップ弱くなります。
- ◀ にタッチすると：
映像の黒レベルが1ステップ強くなります。

- 調整した画質の設定はテレビ、ビデオ、ナビゲーション画面ごとに、昼/夜画面別にメモリーできます。
- ナビゲーション画面やオーディオコントロールなどのグラフィック画面ではCOL (色の濃さ)、TIN (色合い) の調整はできません。

夜画面の設定 [DIM]

▶ ON にタッチすると：
車両のライトスイッチのオン/オフに連動して、夜画面で設定した画質に切り替えます。

▶ OFF にタッチすると：
昼画面の画質設定になります。

メモ ● 夜画面の画質を調整するときは、『ON』に設定して、車両のライトをオンにしてください。

アングルコントロール画面への切り替え

ANGLE にタッチするとアングルコントロール画面に切り替わります。

コントロール画面の終了

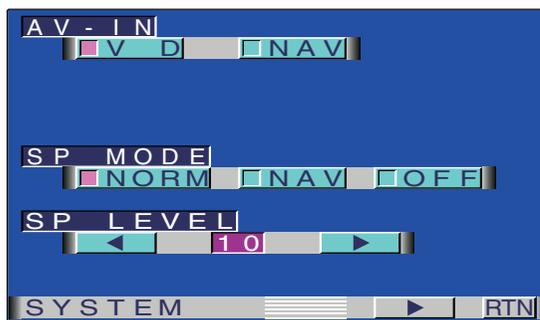
OK にタッチするとコントロール画面が終了します。

- メモ ● モニターのSCRN、MODE、FNC、V.SELボタンのいずれかを押してもコントロール画面は終了します。
- コントロール画面が表示されているときは、ナビゲーションユニットのタッチコントロールはできません。

システムの設定

▶ システム設定画面の表示

セットアップメニュー画面の **SYSTEM** にタッチします。(▶8ページ)



システム設定画面-1

● ビデオ入力モードの設定 [AV-IN]

V D にタッチすると：

ビデオ入力端子の設定がビデオモードになり、パーキングブレーキをセットしないと映像が映りません。

NAV にタッチすると：

ビデオ入力端子の設定がナビゲーションモードになります。

メモ ビデオ入力端子にナビゲーションシステムを接続している場合は『NAV』の設定にしてください。

● 内蔵スピーカーモードの設定 [SP MODE]

NORM にタッチすると：

モニター映像の音声を出力します。

NAV にタッチすると：

モニターの映像とは関係なく常にナビゲーションの音声を出力します。

OFF にタッチすると：

内蔵スピーカーをオフにします。

● 内蔵スピーカー音量の設定 [SP LEVEL]

▶ にタッチすると：

内蔵スピーカーの音量が大きくなります。

◀ にタッチすると：

内蔵スピーカーの音量が小さくなります。

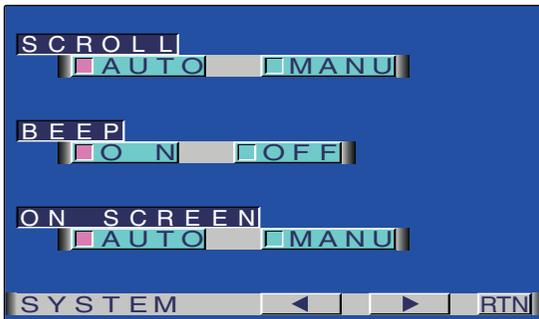
メモ 内蔵スピーカーモードの設定が『OFF』に設定している場合は表示されません。

● システム設定画面-2への切り替え

画面右下の **▶** にタッチするとシステム設定画面-2に切り替わります。

● システム設定画面の終了

RTN にタッチするとセットアップメニュー画面に戻ります。



システム設定画面-2

スクロールモードの設定 [SCROLL]

AUTO にタッチすると：

CDやMDのテキスト/タイトルが自動的に繰り返しスクロール表示します。

MANU にタッチすると：

CDやMDのテキスト/タイトルをオーディオコントロール画面の **SCRL** で、必要なときにスクロール表示できます。

ビープ音の設定 [BEEP]

ON にタッチすると：

本機やセンターユニット操作時に確認音（ビープ音）が鳴ります。

OFF にタッチすると：

本機やセンターユニット操作時の確認音（ビープ音）は鳴りません。

オンスクリーンモードの設定 [ON SCREEN]

AUTO にタッチすると：

センターユニットのボタンを操作したときやディスクの曲が切り替わったときなどに、オーディオソースの状況を一時的に映像に重ねて表示します。

MANU にタッチすると：

テレビ映像時にスクリーン下部（ビデオ映像時は任意の場所）にタッチすると、オーディオソースの状況を一時的に映像に重ねて表示します。（➡9ページ）

システム設定画面-3への切り替え

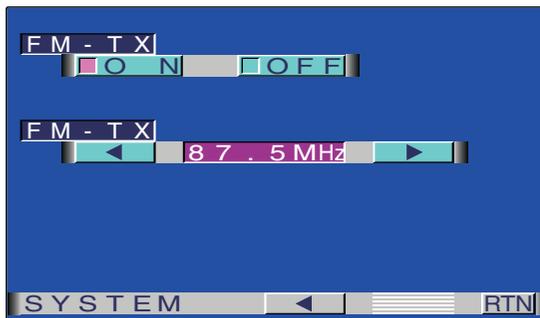
画面右下の **▶** にタッチするとシステム設定画面-3に切り替わります。

システム設定画面-1への切り替え

画面右下の **◀** にタッチするとシステム設定画面-1に戻ります。

システム設定画面の終了

RTN にタッチするとセットアップメニュー画面に戻ります。



システム設定画面-3 (A707/センターユニット未接続時)



システム設定画面-3
(A707/MZ-BUSセンターユニット接続時)

FMトランスミッターの設定 [FM-TX]

ON にタッチすると：

FMトランスミッター機能がオンになります。

OFF にタッチすると：

FMトランスミッター機能がオフになります。

▶ にタッチすると：

FMトランスミッターの送信周波数が1ステップ高くなります。

◀ にタッチすると：

FMトランスミッターの送信周波数が1ステップ低くなります。



- A707やセンターユニットに接続している場合は、FMトランスミッターの設定は表示されません。
- 送信周波数は87.5～89.9 MHzの範囲で0.1MHzずつ調整できます。
- 設定した周波数によっては、4chの映像にノイズが入る場合があります。
- 地域のFM放送局が混信するときは、周波数を変更してください。(VICS局に混信すると、VICS情報が正しく受信できないことがあります。)
- カーFMラジオの自動選局では設定した周波数で止まらない場合があります。このような時は手動選局で周波数を合わせてください。
- FMトランスミッターの音声は車両のアンテナ位置などにより聞き取りにくい場合があります。
- FMトランスミッターの音声はモノラル音声になります。

FMトランスミッター機能を使用してTV音声などをカーFMラジオから聴く場合は、22ページのオーディオセレクト画面で、聴きたいソースマークを選択してください。ソースマークを選択しないとFMトランスミッターから音声は出力されません。

FMダイバシティの設定 [FM-DIV]

ON にタッチすると：

FMダイバシティ機能がオンになります。

OFF にタッチすると：

FMダイバシティ機能がオフになります。



A707やMZ-BUSセンターユニットを接続している場合に表示されます。

システム設定画面-2への切り替え

画面右下の **◀** にタッチするとシステム設定画面-2に戻ります。

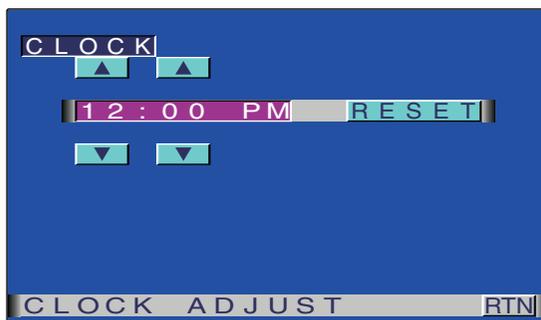
システム設定画面の終了

RTN にタッチするとセットアップメニュー画面に戻ります。

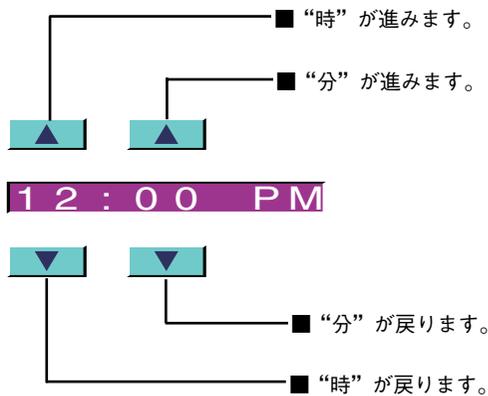
時計の調整

▶ 時計調整画面の表示

セットアップメニュー画面の **CLOCK** にタッチします。(☛ 8ページ)



● 時計の調整



● 分を“00”にする

RESET にタッチすると分が“00”になります。

メモ “分”が30分以上の場合は、下記のように時間がくり上がった“00”分になります。

例

- 1:00PM ~ 1:29PM → 1:00PM
- 1:30PM ~ 1:59PM → 2:00PM

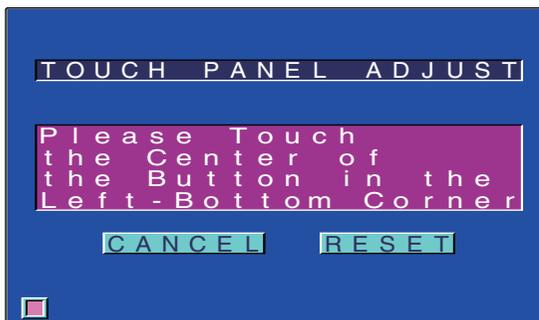
● 時計調整画面の終了

RTN にタッチすると時間調整を終了して、セットアップメニュー画面に戻ります。

タッチパネルの調整

▶ タッチパネル調整画面の表示

セットアップメニュー画面の **TOUCH** にタッチします。(▶ 8ページ)



● タッチパネルの調整

タッチパネル調整は、タッチした場所と実際の動作が正しく合わない場合に補正する機能です。

1. 最初に表示される左下の  マークを正確にタッチしてください。
2. 次に表示される右上の  マークを正確にタッチしてください。

右上のマークをタッチした時点で調整が終了し、セットアップメニュー画面に戻ります。

-  左下のボタンにタッチしないで **CANCEL** にタッチした場合は何も補正しないで調整画面に切り替える前の画面に戻ります。
- 左下のボタンにタッチした後に **CANCEL** へタッチすると、左下のボタンが再度表示されます。
- **RESET** にタッチすると、お買い上げ時の設定になりセットアップメニュー画面に戻ります。

オーディオの設定

▶ オーディオ設定画面の表示

ソースセレクト画面の  にタッチします。(☛8ページ)



オーディオ設定画面-1

● バランス/フェダーの調整 [BAL/FAD]

-  にタッチすると：
バランスが1ステップ右寄りになります。
-  にタッチすると：
バランスが1ステップ左寄りになります。
-  にタッチすると：
フェダーが1ステップ前寄りになります。
-  にタッチすると：
フェダーが1ステップ後寄りになります。

 DSPユニットを接続している場合は、DSP効果を正しく得るため、バランス/フェダーは中央に設定してください。

● 低音の調整 [BASS]

-  にタッチすると：
低音域のレベルが1ステップ大きくなります。
-  にタッチすると：
低音域のレベルが1ステップ小さくなります。

● 高音の調整 [TREBLE]

-  にタッチすると：
高音域のレベルが1ステップ大きくなります。
-  にタッチすると：
高音域のレベルが1ステップ小さくなります。

 MZ-BUS DSPユニットを接続している場合は、表示が“NF-BAS” / “NF-TRE” となり、ノンフェーディング出力の音質調整になります。フロント/リア出力の音質調整はイコライザーコントロール画面 (☛ 21ページ) で調整してください。

なお、「プリアウトの設定」(☛ 18ページ) で『REAR』を選択している場合は、“NF-BAS” / “NF-TRE” の設定は表示はされません。

● オーディオ設定画面-2への切り替え

画面右下の  にタッチするとオーディオ設定画面-2に切り替わります。

● オーディオ設定画面の終了

RTN にタッチするとソースセレクト画面に戻ります。

オーディオ設定画面に表示されない項目はセンターユニットで調整/設定してください。



オーディオ設定画面-2

● ラウドネスの設定 [LOUD]

[ON] にタッチすると：

ラウドネス機能がオンになり、低音と高音が強調されます。

[OFF] にタッチすると：

ラウドネス機能がオフになります。

メモ ●『ON』に設定している場合は、オーディオコントロール画面上のLOUDインジケータが点灯します。

●チューナー選択時は低音のみ強調した音質になります。

● プリアウトの設定 [PREOUT]

[REAR] にタッチすると：

プリアウト端子がリア出力になります。

[NF] にタッチすると：

プリアウト端子がノンフェーディング出力になります。

メモ ノンフェーディング出力端子が独立しているセンターユニットに接続している場合は、表示されません。

● 位相の設定 [PHASE]

[NOR] にタッチすると：

ノンフェーディング出力の位相が正相になります。

[REV] にタッチすると：

ノンフェーディング出力の位相が逆相になります。

メモ MJ919、Z919 およびMJ909接続時でプリアウトの設定が『NF』の場合に表示されます。

● アンプコントロールの設定 [AMP CTRL]

[OFF] または **[ON]** にタッチすると：

OFF(機能がオフ) ◀▶1◀▶2 に切り替わります。

メモ MJ919、MZ919、Z919、M919およびM909接続時に表示されます。

● フロントハイパスフィルターの設定 [HP-F]

[↑] にタッチすると：

周波数が1ステップ高くなります。

[↓] にタッチすると：

周波数が1ステップ低くなります。

● リアハイパスフィルターの設定 [HP-R]

[↑] にタッチすると：

周波数が1ステップ高くなります。

[↓] にタッチすると：

周波数が1ステップ低くなります。

メモ A707接続時は、ハイパスフィルター周波数をOFF(HPFオフ)、40Hz、60Hz、80Hz、100Hz、120Hz、150Hz、180Hz、220Hz から選択することができます。センターユニットと接続している場合の切り替え周波数はセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

● ノンフェーディングレベルの設定 [NF-LV]

[↑] にタッチすると：

ノンフェーディング出力レベルが1ステップ大きくなります。

[↓] にタッチすると：

ノンフェーディング出力レベルが1ステップ小さくなります。

メモ 「プリアウトの設定」で『REAR』を選択している場合は、表示されません。

● ノンフェーディング・ローパスフィルターの設定 [NF-LP]

[↑] にタッチすると：

周波数が1ステップ高くなります。

[↓] にタッチすると：

周波数が1ステップ低くなります。

メモ 「プリアウトの設定」で『REAR』を選択している場合は、表示されません。

● オーディオ設定画面-1への切り替え

画面右下の **[◀]** にタッチするとオーディオ設定画面-1に戻ります。

● オーディオ設定画面の終了

[RTN] にタッチするとソースセレクト画面に戻ります。

DSPコントロール

▶ DSPコントロール画面の表示

ソースセレクト画面の  にタッチします。(☛8ページ)



DSPコントロール画面

SFCコントロール画面への切り替え

SFC にタッチするとSFCコントロール画面に切り替わります。(☛20ページ)

 MZ-BUSシステム以外のDSPユニットを接続している場合は表示されません。

SFCモードの切り替え

SFCモード表示下の  にタッチするたびにSFCモードが切り替わります。

イコライザーコントロール画面への切り替え

EQ にタッチするとイコライザーコントロール画面に切り替わります。(☛21ページ)

 MZ-BUSシステム以外のDSPユニットを接続している場合は表示されません。

イコライザーモードの切り替え

イコライザーモード表示下の  にタッチするたびにイコライザーモードが切り替わります。

ポジションコントロール画面への切り替え

POS にタッチするとポジションコントロール画面に切り替わります。(☛20ページ)

 MZ-BUSシステム以外のDSPユニットを接続している場合は表示されません。

ポジションモードの切り替え

ポジションモード表示下の  にタッチするたびにポジションモードが切り替わります。

DSP設定のメモリー

1 ~ **3** のいずれかに2秒以上タッチし続けると、現在のDSP設定がタッチした番号にメモリーされます。

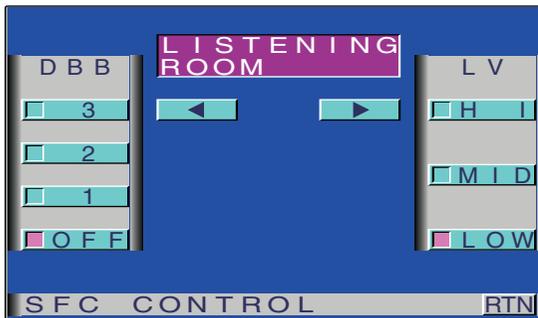
メモリーした設定の呼び出し

1 ~ **3** のいずれかにタッチすると、タッチした番号にメモリーされているDSP設定が呼び出されます。

DSPコントロール画面の終了

RTN にタッチするとソースセレクト画面に戻ります。

- 各DSPの機能については接続しているセンターユニットやDSPユニットの取扱説明書をご覧ください。
- DSP効果を正しく得るため、バランスやフェーダーの設定はセンターにしてください。



SFCコントロール画面

SFCモードの切り替え

◀ または ▶ にタッチするたびにSFCモードが切り替わります。

DSPバスブーストレベルの調整 [DBB]

- 3 : ブーストする帯域が広くなります。
- 2 : ▲ ▼
- 1 : ブーストする帯域が狭くなります。
- OFF : バスブーストを解除します。

SFCモードで『BYPASS』を選択している場合は、調整できません。

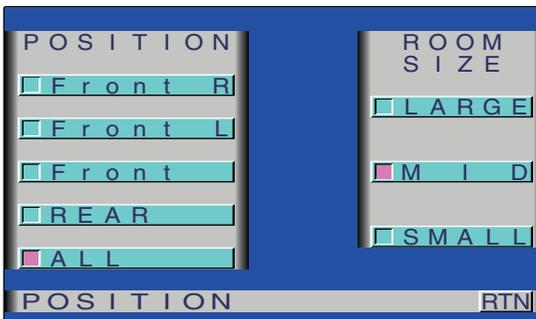
SFCレベルの調整 [LV]

- H I : DSP効果が大きくなります。
- M I D : ▲ ▼
- L O W : DSP効果が小さくなります。

SFCモードで『BYPASS』を選択している場合は、調整できません。

SFCコントロール画面の終了

RTN にタッチするとDSPコントロール画面に戻ります。



ポジションコントロール画面

ポジションの設定 [POSITION]

- Front R : 音場の中心が前部座席右
- Front L : 音場の中心が前部座席左
- Front : 音場の中心が前部座席
- REAR : 音場の中心が後部座席
- ALL : 音場の中心が車室中央

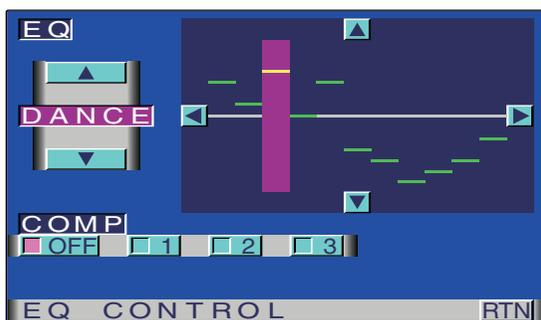
ルームサイズの設定 [ROOM SIZE]

- LARGE : 1BOXやRV車に合わせた設定になります。
- M I D : セダン車に合わせた設定になります。
- SMALL : コンパクト車に合わせた設定になります。

ポジションの設定を『ALL』にしている場合は、操作できません。

ポジションコントロール画面の終了

RTN にタッチするとDSPコントロール画面に戻ります。



イコライザーコントロール画面

イコライザーモードの切り替え

▲ または ▼ にタッチするたびにイコライザーモードが切り替わります。

イコライザーの調整

▶ にタッチするたびにイコライザー調整周波数が高くなります。

◀ にタッチするたびにイコライザー調整周波数が低くなります。

▲ にタッチするたびにイコライザーレベルが大きくなります。

▼ にタッチするたびにイコライザーレベルが小さくなります。

メモ 調整を行える周波数は接続しているDSPユニットにより異なります。また、調整周波数が11バンドより少ない場合は、画面のバンド表示で動作しないところがあります。

コンプレッションレベルの調整 [COMP]

■ 3 : コンプレッションレベルが大きくなります。

■ 2 : ▲▼

■ 1 : コンプレッションレベルが小さくなります。

■ OFF : コンプレッションを解除します。

イコライザーコントロール画面の終了

RTN にタッチするとDSPコントロール画面に戻ります。

ソースセレクト画面の操作



ソースセレクト画面

オーディオソースの切り替え



各【オーディオソースマーク】にタッチするとタッチしたオーディオコントロール画面に切り替わります。

(表示可能なコントロール画面は下記を参照してください。)

オーディオソースリストの切り替え

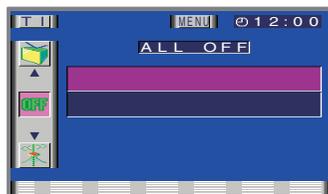
接続しているオーディオソースが9ソース以上の場合は  にタッチするとオーディオソースリストが切り替わります。

オーディオソースリストを戻すときは  にタッチします。

オーディオコントロール画面への切り替え

RTN にタッチすると現在選択されているオーディオコントロール画面に切り替わります。

オーディオコントロール画面



 **ALL OFF**
(機能の一時停止状態)



 **FM/AMチューナー**
● 26～27ページ



 **MDプレーヤー**
● 30～31ページ



 **CDプレーヤー**
● 28～29ページ



 **カセットプレーヤー**
● 32～33ページ



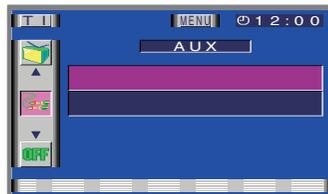
 **CDチェンジャー**
● 34～36ページ



 **MDチェンジャー**
● 34～36ページ

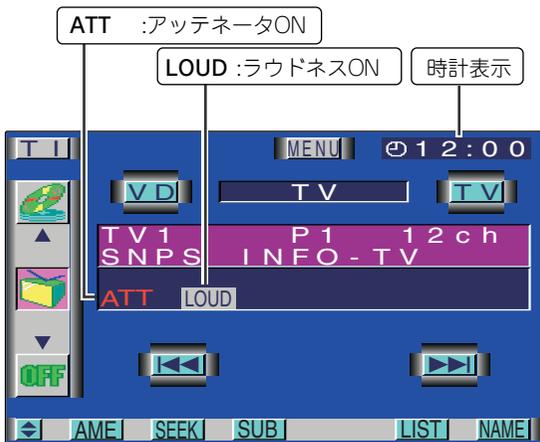
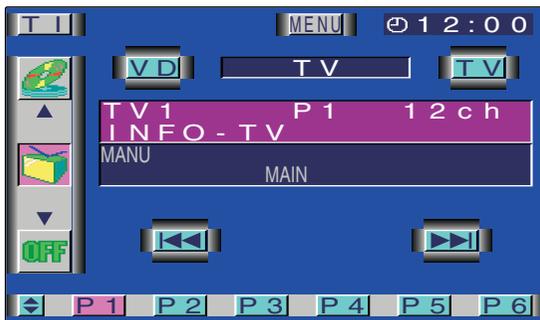


 **TVチューナー**
● 24～25ページ



 **AUX**
(AUXソース選択)

オーディオコントロール画面の共通操作



交通情報コントロール



交通情報コントロール画面

オーディオソースの切り替え

＜オーディオコントロール画面を切り替える＞



▲側の【オーディオソースマーク】にタッチすると前のオーディオソースに切り替わります。



▼側の【オーディオソースマーク】にタッチすると次のオーディオソースに切り替わります。



交通情報局への切り替え

＜交通情報局を受信する＞

TI にタッチすると交通情報コントロール画面に切り替わります。



A707やセンターユニットを接続していない場合は表示されません。

ソースセレクト画面への切り替え

MENU にタッチするとソースセレクト画面に切り替わります。

操作キーの切り替え

＜操作したいキーを切り替える＞



にタッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。

交通情報局の選局

＜交通情報局を切り替える＞



または  にタッチするごとに受信周波数が下記のように切り替わります。



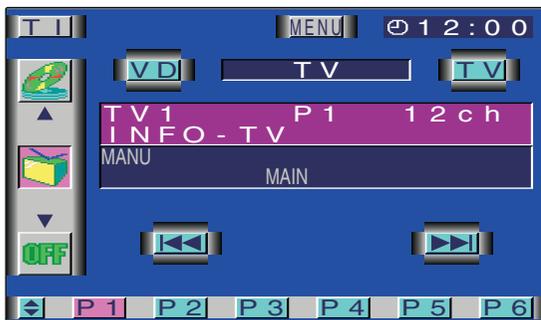
交通情報受信を止める

RTN にタッチすると交通情報局に切り替える前のオーディオコントロール画面に戻ります。

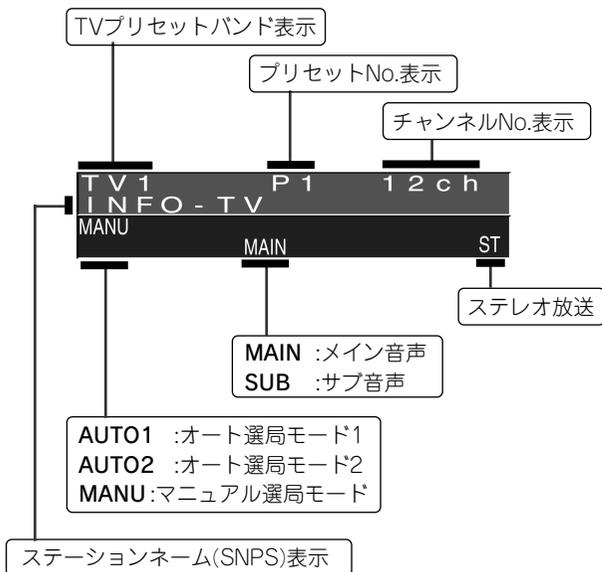
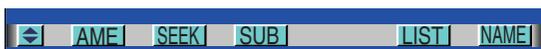
TVチューナーコントロール

▶TVチューナーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面 (▶ 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。



TVチューナーコントロール画面



●ビデオ入力の切り替え

<ビデオに切り替える>

VD にタッチするとビデオ入力に切り替わります。

 ビデオ入力に切り替えると、[◀◀] や [▶▶]、[P1] ~ [P6] などTVチューナーを操作するキーは表示されません。

●TVバンドの切り替え

<TVプリセットバンドを切り替える>

TV にタッチするとTVバンド1と2に切り替わります。

●選局

<放送局を選ぶ>

●オート選局モード 1のとき

 にタッチするとチャンネルの高いほうの受信状態の良い放送局を自動的に探します。

 にタッチするとチャンネルの低いほうの受信状態の良い放送局を自動的に探します。

●オート選局モード 2のとき

 にタッチするたびにプリセットNo.の大きいほうへ切り替わります。

 にタッチするたびにプリセットNo.の小さいほうへ切り替わります。

●マニュアル選局モードのとき

 にタッチするたびに1ステップずつチャンネルが高くなります。

 にタッチするたびに1ステップずつチャンネルが低くなります。

●マニュアルメモリー

<放送局をメモリーする>

P1 ~ **P6** のいずれかに2秒以上タッチし続けると、現在受信中の放送局がタッチした番号にメモリーされます。

●メモリーの呼び出し

<メモリーした放送局を呼び出す>

P1 ~ **P6** のいずれかにタッチすると、タッチした番号にメモリーされている放送局が呼び出されます。

●操作キーの切り替え

<操作したいキーを切り替える>

 にタッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。

オートメモリー

<受信状態の良い放送局を自動的にメモリーする>

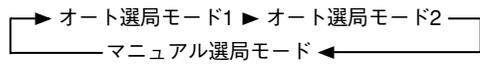
1. **AME** にタッチするとオートメモリースタンバイモードになります。
(**◀▶**、 **▶▶** が点滅します。)
2. 点滅中に **◀▶** または **▶▶** にタッチするとオートメモリーを開始します。
現在選択しているプリセットバンドに最大6局まで自動的にメモリーします。

- メモ** ●6局をメモリーするか、チャンネルを一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。
- オートメモリー中に **[AME]** にタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

チューニングモードの設定

<選局方法を選ぶ>

SEEK にタッチするたびにチューニングモードが下記のように切り替わります。



メイン-サブ音声の切り替え

<音声多重放送のメイン-サブ音声を切り替える>

SUB にタッチするたびに、音声多重放送のメインとサブ音声切り替わります。

- メモ** 音声多重放送を受信して場合に操作できます。

TVリスト画面への切り替え

<メモリーされている放送局のリストを見る>

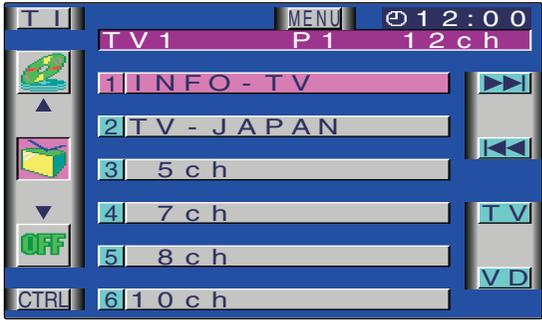
LIST にタッチするとTVリスト画面に切り替わります。

ネームセット画面への切り替え

<現在受信している放送局に名前をつける(SNPS)>

NAME にタッチするとネームセット画面に切り替わります。(☛37ページ)

- メモ** パーキングブレーキが解除されている場合は、ネームセット画面には切り替わりません。



TVリスト画面

リストの呼び出し

<リストから放送局を選択する>

1 ~ **6** のリストにタッチすると、タッチしたキーの放送局 (チャンネル) に切り替わります。

リストの切り替え

<リストを切り替える>

TV にタッチするとリストがTVプリセットバンド1と2に切り替わります。

選局

<放送局を選ぶ>

▶▶ / **◀▶** コントロール画面と同様に操作します。

マニュアルメモリー

<放送局をメモリーする>

1 ~ **6** のリストのいずれかに2秒以上タッチし続けると、現在受信中の放送局がタッチした番号にメモリーされます。

ビデオ入力の切り替え

<ビデオに切り替える>

VD にタッチするとビデオ入力に切り替わります。

TVリスト画面の終了

<コントロール画面に戻る>

CTRL にタッチするとコントロール画面に戻ります。

FM/AMチューナーコントロール

▶FM/AMチューナーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面 (▶ 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。



FM/AMチューナーコントロール画面



FM/AMプリセットバンド表示

プリセットNo.表示

周波数表示

FM1 P1 82.5 MHz
NHK - TOKYO
AUTO ST

ステレオ放送

A707接続時

AUTO1 :オート選局モード1

AUTO2 :オート選局モード2

MANU:マニュアル選局モード

センターユニット接続時

AUTO :オート選局モード1

MANU:マニュアル選局モード

ステーションネーム(SNPS)表示

選局の操作説明は“A707”(FM/AMチューナーアンブ)を接続している場合です。CDレーザーやMDレーザーなどのセンターユニットを接続している場合は切り替わるバンド数や選局モード切り替えはセンターユニットでのボタン操作と同様になります。

●AMバンドの切り替え

<AMに切り替える>

AM にタッチするとAMバンドに切り替わります。

【センターユニット：AMバンド1、2に切り替わる】

●FMバンドの切り替え

<FMに切り替える>

FM にタッチするとFMバンド1、2、3に切り替わります。

【センターユニット：FMバンド1、2に切り替わる】

●選局

<放送局を選ぶ>

●オート選局モード 1のとき

▶▶ にタッチすると周波数の高いほうの受信状態の良い放送局を自動的に探します。

【センターユニット：0.5秒以上タッチし続ける】

◀◀ にタッチすると周波数の低いほうの受信状態の良い放送局を自動的に探します。

【センターユニット：0.5秒以上タッチし続ける】

●オート選局モード 2のとき (A707接続時のみ)

▶▶ にタッチするたびにプリセットNo.の大きい方へ切り替わります。

◀◀ にタッチするたびにプリセットNo.の小さい方へ切り替わります。

●マニュアル選局モードのとき

▶▶ にタッチするたびに1ステップずつ周波数が高くなります。

◀◀ にタッチするたびに1ステップずつ周波数が低くなります。

●マニュアルメモリー

<放送局をメモリーする>

P1 ~ **P6** のいずれかに2秒以上タッチし続けると、現在受信中の放送局がタッチした番号にメモリーされます。

●メモリーの呼び出し

<メモリーした放送局を呼び出す>

P1 ~ **P6** のいずれかにタッチすると、タッチした番号にメモリーされている放送局が呼び出されます。

●操作キーの切り替え

<操作したいキーを切り替える>

◀▶ にタッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。

オートメモリー

<受信状態の良い放送局を自動的にメモリーする>

1. **AME** にタッチするとオートメモリースタンバイモードになります。
(**◀▶**、 **▶▶** が点滅します。)
2. 点滅中に **◀▶** または **▶▶** にタッチするとオートメモリーを開始します。
現在選択しているプリセットバンドに最大6局まで自動的にメモリーします。

- **MEMO** 6局をメモリーするか、周波数を一周して受信状態の良い放送局をメモリーすると、オートメモリーを終了し、最後にメモリーした放送局を受信します。
- オートメモリー中に **[AME]** にタッチすると、オートメモリー動作は解除されます。

チューニングモードの設定

(A707接続時のみ) <選局方法を選ぶ>

SEEK にタッチするたびにチューニングモードが下記のように切り替わります。



モノラル音声の切り替え

<FM放送を強制的にモノラル受信する>

MONO にタッチするたびに、モノラル受信がオン/オフします。

FM/AMリスト画面への切り替え

<メモリーされている放送局のリストを見る>

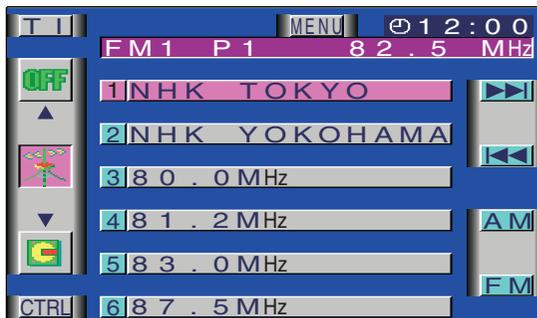
LIST にタッチするとFM/AMリスト画面に切り替わります。

ネームセット画面への切り替え

<現在受信している放送局に名前をつける(SNPS)>

NAME にタッチするとネームセット画面に切り替わります。(● 37ページ)

- **MEMO** パーキングブレーキが解除されている場合は、ネームセット画面には切り替わりません。



FM/AMリスト画面

リストの呼び出し

<リストから放送局を選択する>

1 ~ **6** のリストにタッチすると、タッチしたキーの放送局 (周波数) に切り替わります。

リストの切り替え

<リストを切り替える>

AM にタッチするとAMプリセットバンドのリストに切り替わります。

【センターユニット：AMバンド1、2に切り替わる】
FM にタッチするとFMプリセットバンド1、2、3のリストに切り替わります。

【センターユニット：FMバンド1、2に切り替わる】

選局

<放送局を選ぶ>



コントロール画面と同様に操作します。

マニュアルメモリー

<放送局をメモリーする>

1 ~ **6** のリストのいずれかに2秒以上タッチし続けると、現在受信中の放送局がタッチした番号にメモリーされます。

FM/AMリスト画面の終了

<コントロール画面に戻る>

CTRL にタッチするとコントロール画面に戻ります。

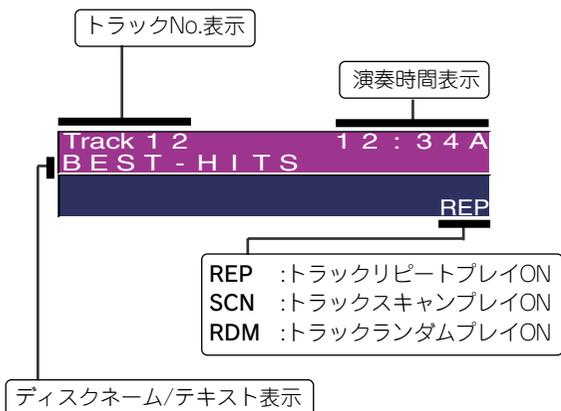
CDプレーヤーコントロール

▶ CDプレーヤーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面 (● 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。



CDプレーヤーコントロール画面



MP3ファイル再生時の注意

- Z919やD919のMP3ファイルに対する操作はMJ919, MZ919, Z919およびM919付属取扱説明書のMP3ファイルの操作キー説明を参照してください。ただし、本機から操作できるのは、ポーズ、ファイルサーチ、ファイルリピートプレイ、ランダムプレイのみになります。それ以外の操作はセンターユニット (MJ919, MZ919, Z919およびM919)で行ってください。
- ファイルネーム、フォルダーネームは表示できません。
- ファイルNo.が100以上あっても表示はNo.99までしか表示できません。
- MJ919, MZ919, Z919およびM919以外のセンターユニット+D919+本機の組み合わせでは、MP3ファイルの操作はセンターユニットからでも、ポーズ、ファイルサーチ、ファイルリピートプレイ、ランダムプレイのみの操作になります。

● ポーズ

<演奏を一時停止する>

 にタッチするとCDプレイが一時停止します。

一時停止を解除する時は

 にタッチすると、CDプレイになります。

 MP3ファイルをポーズ中はファイルサーチなどのMP3の操作はできません。

● 選曲

<曲を選ぶ>

● 先の曲を選ぶ

 にタッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

 にタッチし続けると現在の曲を早送りします。

● 手前の曲を選ぶ

 に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

 にタッチし続けると現在の曲を早戻します。

 MP3ファイルの早送り、早戻しはできません。

● トラックスキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN または  にタッチします。トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

 MP3ファイル再生時に本キーが表示されますが、操作はできません。

● トラックリピートプレイ

<同じ曲を繰り返し聴く>

REP にタッチするたびにトラックリピートがオン/オフします。

オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

● トラックランダムプレイ

<聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する>

RDM にタッチするたびにトラックランダムプレイがオン/オフします。

オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

 にタッチすると他の曲を選びます。

操作キーの切り替え

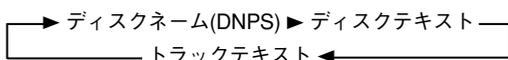
<操作したいキーを切り替える>

にタッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。

テキスト表示の切り替え

<ディスクネームやテキスト表示を切り替える>

TITLE にタッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



- テキストが記録されていないCDは、「NO TEXT」と表示されます。
- ディスクネーム(DNPS)が登録されていないCDは、「NO NAME」と表示されます。

タイトルの表示モード切り替え

<テキストをスクロールして確認する>

- セットアップ画面のスクロール設定が『**AUTO**』のとき
(☛ 13ページ)

SCRL にタッチすると、一旦テキストの最初16文字を表示し、再びスクロール表示に戻ります。

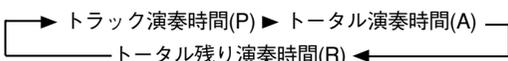
- セットアップ画面のスクロール設定が『**MANU**』のとき
(☛ 13ページ)

SCRL にタッチするとテキストの全文字を1回スクロール表示します。

演奏表示の切り替え

<演奏時間表示を切り替える>

TIME にタッチするごとに表示が以下のように切り替わります。



- MP3ファイル再生中はトラック演奏時間以外の演奏時間表示は動作しません。

ネームセット画面への切り替え

<現在演奏しているCDに名前をつける(DNPS)>

NAME にタッチするとネームセット画面に切り替わります。(☛ 37ページ)

- パーキングブレーキが解除されている場合は、ネームセット画面には切り替わりません。
- MP3が収録されているディスクにネームセットを行うと、MP3が収録されている全てのディスクに対して同じネームが表示されます。

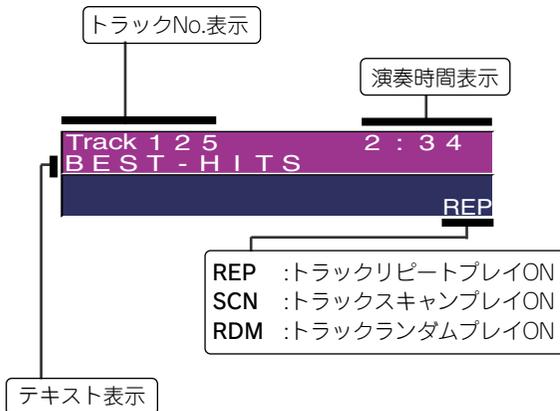
MDプレーヤーコントロール

▶ MDプレーヤーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面 (▶ 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。



MDプレーヤーコントロール画面



●ポーズ

<演奏を一時停止する>

 にタッチするとMDプレイが一時停止します。

一時停止を解除する時は

 にタッチすると、MDプレイになります。

●選曲

<曲を選ぶ>

●先の曲を選ぶ

 にタッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

 にタッチし続けると現在の曲を早送りします。

●手前の曲を選ぶ

 に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

 にタッチし続けると現在の曲を早戻します。

●トラックスキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN または  にタッチします。トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

●トラックリピートプレイ

<同じ曲を繰り返し聴く>

REP にタッチするたびにトラックリピートがオン/オフします。

オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

●トラックランダムプレイ

<聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する>

RDM にタッチするたびにトラックランダムプレイがオン/オフします。

オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

 にタッチすると他の曲を選びます。

操作キーの切り替え

<操作したいキーを切り替える>

 にタッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。

タイトル表示の切り替え

<タイトル表示を切り替える>

TITLE にタッチするたびに表示が以下のように切り替わります。

ディスクタイトル ◀ ▶ トラックタイトル

 タイトルが記録されていないMDは、「NO TITLE」と表示されます。

タイトルの表示モード切り替え

<タイトルをスクロールして確認する>

●セットアップ画面のスクロール設定が『AUTO』のとき
( 13ページ)

SCRL にタッチすると、一旦タイトルの最初16文字を表示し、再びスクロール表示に戻ります。

●セットアップ画面のスクロール設定が『MANU』のとき
( 13ページ)

SCRL にタッチするとタイトルの全文字を1回スクロール表示します。

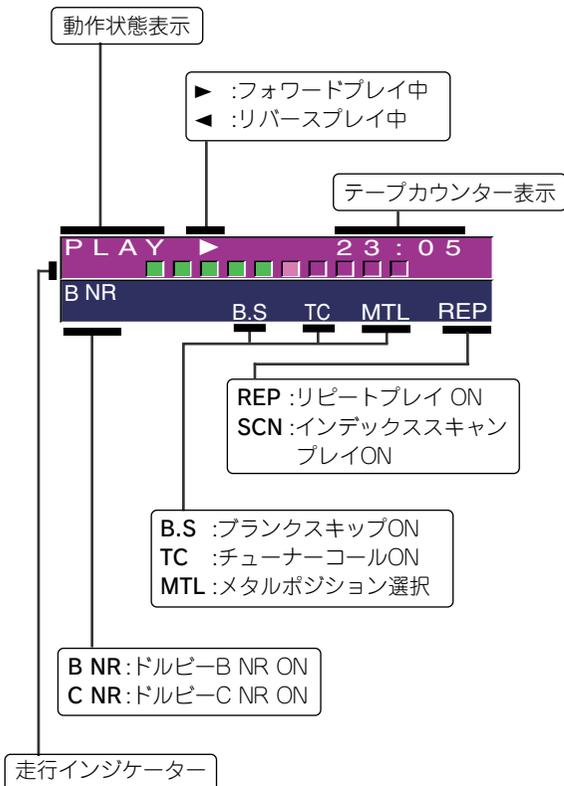
テーププレーヤーコントロール

▶ テーププレーヤーコントロール画面の表示

ソースセレクト画面 (▶ 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。



テーププレーヤーコントロール画面



● 走行方向の切り替え

<テープのA面/B面を切り替える>

 にタッチするたびにテープの走行をフォワードプレイとリバースプレイに切り替えます。

● 選曲

<曲を選ぶ: DPSS-ダイレクトプログラムサーチシステム>

● 先の曲を選ぶ

 にタッチするたびに飛び越す曲数 (最大9曲まで) が表示され、指定した曲の先頭へ早送りし自動的に演奏が始まります。

● 手前の曲を選ぶ

 に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに飛び越す曲数 (最大9曲まで) が表示され、指定した曲の先頭へ巻戻り自動的に演奏が始まります。

 途中で解除したいときは [] にタッチします。

● 早送り/巻戻し

● 早送りする

 にタッチするとテープを早送りします。

● 巻き戻しする

 にタッチするとテープを巻戻しします。

早送り/巻き戻しを止める時は

 にタッチします。

● ドルビー-B/C NR

<ドルビー-B/C NRを使って録音されたテープを聴く>

 にタッチするたびにドルビー-NRシステムが下記のように切り替わります。

▶ ドルビー-B NR ▶ ドルビー-C NR ▶ ドルビー-NR オフ

 ドルビー-B NRシステムのためのテーププレーヤーに接続している場合は、[B NR] になります。

インデックススキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとインデックススキャンプレイがオンになり、曲の先頭部分を約10秒間演奏すると、次の曲の先頭まで早送りして各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN または  にタッチします。インデックススキャンプレイが解除になり通常のプレイに戻ります。

ブランクスキップ

<無録音部分をスキップする>

B.S にタッチするたびにブランクスキップをオン/オフします。

オンにすると、10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲まで早送りされます。

リピートプレイ

<同じ曲を繰り返し聴く>

REP にタッチするたびにリピートプレイがオン/オフします。

オンにすると、聴いている曲を繰り返し演奏します。

チューナーコール

<早送り/巻戻し時にFM/AM放送を聴く>

T.C にタッチするたびにチューナーコールをオン/オフします。

オンにすると、テープの早送り/巻戻し中は音声はFM/AMチューナーに切り替わります。

-  ● チューナーコール機能のないテーププレーヤーと接続している場合は表示されません。
- オートアンテナ仕様車ではチューナーコールがオンのときアンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときはチューナーコールをオフにしてください。

テープセレクト

<メタル/クロムテープを聴く>

MTL にタッチするたびにメタルポジションをオン (メタル-TYPE IV/クロム-TYPE II) / オフ (ノーマル-TYPE I) します。

- DPSS、リピート、インデックススキャンは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行きます。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープや曲の途中で録音レベルが非常に小さい部分が4秒以上続くテープでは曲間を検出できなかったり、曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音が非常に大きいと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。通常お買い上げ時はオンの設定になっています。

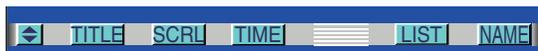
ディスクチェンジャーコントロール

▶ CDチェンジャーコントロール画面の表示 <CD-CH>

ソースセレクト画面 (▶ 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。



ディスクチェンジャーコントロール画面



ディスクNo.表示

トラックNo.表示

演奏時間表示



ディスクネーム (DNPS) /
タイトル表示

REP : トラックリピートプレイON
DREP : ディスクリピートプレイON
SCN : トラックスキャンプレイON
DSCN : ディスクスキャンプレイON
RDM : トラックランダムプレイON
MRDM : マガジンランダムプレイON

ポーズ

<演奏を一時停止する>

 にタッチするとディスプレイが一時停止します。

一時停止を解除する時は

 にタッチすると、ディスプレイになります。

選曲

<曲を選ぶ>

●先の曲を選ぶ

 にタッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

 にタッチし続けると現在の曲を早送りします。

●手前の曲を選ぶ

 に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

 タッチし続けると現在の曲を早戻します。

ディスクの切り替え

<ディスクを選ぶ>

●先のディスクを選ぶ

 にタッチするたびにディスクNo.の大きいほうへサーチします。

●手前のディスクを選ぶ

 にタッチするたびにディスクNo.の小さいほうへサーチします。

ディスクスキャンプレイ

<聴きたいディスクを探す>

 にタッチするとディスクスキャンプレイがオンになり、ディスクマガジンにセットされているディスクの先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたいディスクが見つかったら

 または  にタッチします。ディスクスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

▶MDチェンジャーコントロール画面の表示 <MD-CH>

ソースセレクト画面 (☛ 22ページ) または、各オーディオコントロール画面の  にタッチします。

●トラックスキャンプレイ

<聴きたい曲を探す>

SCN にタッチするとトラックスキャンプレイがオンになり、聴いているディスクの各曲の先頭部分を10秒間ずつ演奏します。

聴きたい曲が見つかったら

SCN または  にタッチします。トラックスキャンプレイが解除され通常のプレイに戻ります。

●ディスクリピートプレイ

<同じディスクを繰り返し聴く>

DREP にタッチするたびにディスクリピートがオン/オフします。

オンにすると、聴いているディスクを繰り返し演奏します。

●トラックリピートプレイ

<同じ曲を繰り返し聴く>

REP にタッチするたびにトラックリピートがオン/オフします。

オンにすると聴いている曲を繰り返し演奏します。

●マガジンランダムプレイ

<マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する>

MRDM にタッチするたびにマガジンランダムプレイがオン/オフします。オンにすると、ディスクマガジンにセットされているディスクから自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

 にタッチすると他の曲を選びます。

●トラックランダムプレイ

<聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する>

RDM にタッチするたびにトラックランダムプレイがオン/オフします。

オンにすると自動的に曲を選んで演奏します。

他の曲に替えたい時は

 にタッチすると他の曲を選びます。

●操作キーの切り替え

<操作したいキーを切り替える>

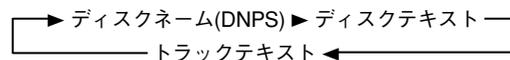
 にタッチするたびに画面下の操作キーが切り替わります。

●テキスト/タイトル表示の切り替え

<ディスクネームやテキスト/タイトル表示を切り替える>

TITLE にタッチするたびに表示が以下のように切り替わります。

●CDチェンジャー演奏時



●テキストが記録されていないCDは、「NO TEXT」と表示されます。

●ディスクネーム(DNPS)が登録されていないCDは、「NO NAME」と表示されます。

●MDチェンジャー演奏時

ディスクタイトル ◀ ▶ トラックタイトル



●タイトルが記録されていないMDは、「NO TITLE」と表示されます。

●テキスト/タイトルの表示モード切り替え

<テキスト/タイトルをスクロールして確認する>

●セットアップ画面のスクロール設定が『AUTO』のとき (☛ 13ページ)

SCRI にタッチすると、一旦テキスト/タイトルの最初16文字を表示し、再びスクロール表示に戻ります。

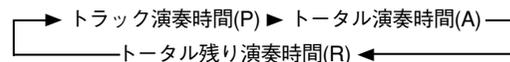
●セットアップ画面のスクロール設定が『MANU』のとき (☛ 13ページ)

SCRI にタッチするとテキスト/タイトルの全文字を1回スクロール表示します。

●CD演奏表示の切り替え

<CDの演奏時間表示を切り替える>

TIME にタッチするたびに表示が以下のように切り替わります。



●ディスクリスト画面への切り替え

<ディスクのリストを見る>

LIST にタッチするとディスクリスト画面に切り替わります。(☛ 36ページ)

●ネームセット画面への切り替え

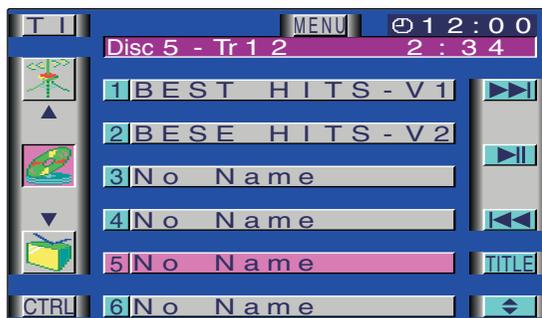
<現在演奏しているCDに名前をつける(DNPS)>

NAME にタッチするとネームセット画面に切り替わります。(☛ 37ページ)



●MDチェンジャー演奏時は、[NAME] の表示はありません。

●パーキングブレーキが解除されている場合は、ネームセット画面には切り替わりません。



ディスクリスト画面

● リストの切り替え

<ディスクNo.7~10のリストに切り替える>

にタッチするたびにディスクNo.1~No.6のリストとNo.7以降のリストが切り替わります。

● リストの呼び出し

<リストからディスクを選択する>

1 ~ **10** のリストにタッチすると、その番号のディスクに切り替わります。

● CDリスト表示の切り替え

<表示をディスクネームとディスクテキストに切り替える>

TITLE にタッチするたびにリストの表示がディスクネーム(DNPS)とディスクテキストに切り替わります。

メモ MDチェンジャー選択時は、[TITLE] の表示はありません。

● ポーズ

<演奏を一時停止する>

にタッチすると、ディスプレイが一時停止します。

一時停止を解除する時は

にタッチすると、ディスプレイになります。

● 選曲

<曲を選ぶ>

● 先の曲を選ぶ

にタッチするたびに先の曲へトラックサーチします。

にタッチし続けると現在の曲を早送りします。

● 手前の曲を選ぶ

に1回タッチすると現在聴いている曲の先頭へ、タッチするたびに手前の曲へトラックサーチします。

タッチし続けると現在の曲を早戻します。

● ディスクリスト画面の終了

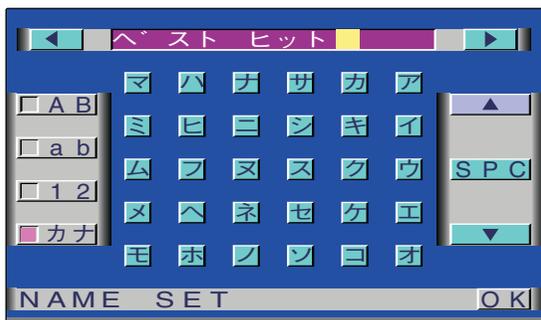
<コントロール画面に戻る>

CTRL にタッチするとコントロール画面に戻ります。

ネームセット

▶ネームセット画面の表示

TVチューナー、FM/AMチューナー、CDプレーヤー、ディスクチェンジャーコントロール画面の **NAME** にタッチします。



ネームセット画面

文字入力カーソルの移動

▶ にタッチするたびに入力カーソルが右に移動します。

◀ にタッチするたびに入力カーソルが左に移動します。

文字種を選択

◻ A B にタッチすると英大文字に切り替わります。

◻ a b にタッチすると英小文字に切り替わります。

◻ 1 2 にタッチすると数字/記号に切り替わります。

◻ カナ にタッチするとカタカナ文字に切り替わります。

文字リストの切り替え

▲ または ▼ にタッチすると文字リストが切り替わります。

メモ 文字リストが一画面に納まる場合は表示しません。

文字の入力

表示している【文字】にタッチすると文字が入力されます。

メモ ● 文字は12桁まで入力できます。

● ステーションネーム (SNPS) はFM/AM、TVの各30局まで登録できます。31局目の登録を行うと1番目に登録したネームが消去されます。

● ディスクネーム (DNPS) はCDプレーヤー/CDチェンジャー合わせて100枚まで登録できます

スペースの入力

SPC にタッチするとブランクを入力してカーソルが右に移動します。

ネームの登録

OK にタッチするネームを登録して、ネームセット画面へ切り替える前のオーディオコントロール画面に戻ります。

メモ ● 登録中にパーキングブレーキを解除したり、放送局をかえる、ディスクをイジェクト、またはディスクが入れ替わった場合も入力途中の文字を登録し、ネームセット画面は終了します。

● 本機で登録したネームはセンターユニットには表示されません。

● センターユニットで登録したネームは本機には表示されません。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線の間違いで故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、次の項目をチェックしてください。

こんなとき ▼	なぜ ▼	こうします ▼
電源が入らない	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認して、所定容量のヒューズと交換してください。
モニターがオープンしない	パーキングブレーキ検出スイッチに配線されていない。	「取り付け/接続のしかた」(● 40ページ)に従って、正しく接続してください。
モニターはオープンするが、画面が表示されない	本機背面の“M-S”スイッチが“S”に設定されている。	“M-S”スイッチを“M”に設定してください。(● 42ページ)
テレビ/ビデオの映像が映らない	パーキングブレーキをセットしていない。	安全のため、パーキングブレーキをセットしないとモニターのオープンやテレビ、ビデオの映像は映りません。
テレビの映りが悪い	アンテナが配線されていない。	TVアンテナを正しく接続してください。
	電波状態が悪い場所で受信している。	電波状態の良い場所に移動して受信してみてください。
	ナビゲーションシステムなどのコンピューター機器からの影響を受けている。	コンピューター機器を本機からできるだけ離して設置してください。
ビデオ入力端子に接続したナビゲーションの映像が映らない	セットアップ画面のAV入力設定が正しくない。	「システムの設定」(● 12ページ)に従って、ビデオ入力モードの設定を『NAV』にしてください。
画面が暗い	気温が低い場所に放置していた。	モニターユニットの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに液晶パネルの性質上、通常より画面が暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
車両のライトオンで画面が暗くならない	夜画面の設定が『OFF』になっている。	夜画面の設定を『ON』にしてください。(● 11ページ)
	イルミネーションコードが配線されていない。	「取り付け/接続のしかた」(● 41ページ)に従って、正しく接続してください。
カーFMラジオからテレビやビデオの音がでない/雑音が多い (内蔵FMトランスミッターがオンの場合)	FMトランスミッターで聴きたいソースが選択されていない。	ソースセレクト画面で聴きたいソースマークを選択してください。(● 22ページ)
	カーFMラジオ側の受信周波数が合っていない。	カーFMラジオの受信周波数をFMトランスミッターの設定周波数に合わせてください。(● 14ページ)
FMラジオからFM放送の音がでない、または雑音が多い	FMトランスミッターがオンになっている。	FMトランスミッターをオフにするか、FMトランスミッターを聴きたい放送局に影響のない周波数に設定してください。(● 14ページ)
FM/AMラジオの受信感度が悪い、または雑音が入る	TVアンテナと車両のアンテナの距離が近い。	●できるだけ離して設置してください。 ●本機の電源をオフにしてください。

- BUSオーディオシステムを接続している場合に、異常があると以下のエラーコードが表示されます。

BUS-E50: 本機背面の“M-S”スイッチが“M”に設定されている。

BUS-E11: DSPユニットが2台以上接続されている。

BUS-W02: 接続されているCDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じNo. (1または2) になっている。

☞1台のCDチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。

BUS-W04: 接続されているMDチェンジャーのNo.スイッチが2台とも同じ番号 (1または2) に設定されている。

☞1台のMDチェンジャーのNo.スイッチを“1”に設定し、もう1台を“2”に設定すれば正常に使用できます。

- その他のシステム状態表示については、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。

なお、取扱説明書の表示と若干異なる場合があります。

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。
(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

■**技術料**：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

■**部品代**：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

モニター部

画面サイズ(W×H)	6.5インチワイド 142.6 mm × 80.7 mm
表示方式	透過型TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス方式
使用光源 (照明方式)	冷陰極管
画素数(V×H)	336,960個 (480H×RGB×234V)
有効画素	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
スピーカー音声出力	1 W (40 mm×20 mm 1個)

TVチューナー部

受信チャンネル (VHF)	1~12ch
(UHF)	13~62ch
選局方式	PLL周波数シンセサイザー方式
復調方式	スプリットキャリア方式
アンテナ入力	4chダイバシティ (75Ω / ミニジャック3.5φ)
外部映像入力レベル (RCAピン)	1Vp-p / 75 Ω
外部音声最大入力レベル (RCAピン)	1V / 22 kΩ
RGB入力 (アナログ)	0.7Vp-p / 75 Ω
FMトランスミッター出力周波数	87.5~89.9 MHz (0.1 MHz間隔で連続可変)

電源・その他

電源電圧	DC14.4 (11~16V)
接地方式	マイナスアース方式
最大消費電流	2 A (通常動作時1.3 A)
使用温度範囲	-10℃~+60℃
保存温度範囲	-20℃~+85℃

本体寸法・質量 (重さ)

外形寸法(W×H×D)	180 mm×50 mm×182 mm
埋込寸法(W×H×D)	178 mm×50 mm×165 mm
質量	1.8 Kg

付属アンテナ

出力インピーダンス	75 Ω / ミニジャック3.5 φ
ケーブルの長さ	6 m
外形寸法	190mm(W)×28.1mm(H)×30mm(D)
アンテナエレメント全伸長	540mm
質量(重さ)	250g (本体 1 個 ケーブル含む)

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
※液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

●商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9

(大阪) 電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)

(土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。)

●アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。